

アジア仏教美術に関する研究の現在の到達点を明らかにし、将来の可能性を拓くシリーズ全12巻

アジア仏教美術論集

南アジアI (マウリア朝〜グプタ朝)

宮治昭・福山泰子
責任編集



A5判上製カバー装
本文644頁
ISBN 978-4-8055-1125-1
2020年3月刊
定価6,380円
(本体5,800円+税10%)

仏教美術の始原へ

ブッダを象徴的に表す初期仏教の時代から、
仏像の創始を経て、東西文化との混濁のな
かで大きく花開いた南アジアの仏教美術。
日本・欧米における研究の到達点を明示す
る十九篇の論考+総論による、豊穡なる古
代インド仏教世界への招待。

アジア仏教美術論集

南アジアII (ポスト・グプタ朝 〜パーラ朝)

立川武蔵・森雅秀
責任編集



A5判上製カバー装
本文664頁
ISBN 978-4-8055-1126-8
2021年3月刊
定価6,380円
(本体5,800円+税10%)

成熟と衰退、そしてアジア全域へ

中世以降のインド仏教美術の全体像を、ヒ
ンドゥー教やジャイナ教などの宗教美術
や信仰、儀礼、歴史といった隣接分野、さ
らにはアジア全域を視野に入れて論じる二
十篇。

アジア仏教美術論集

中央アジアI (ガンダーラ 〜東西トルキスタン)

宮治昭 責任編集



A5判上製カバー装
本文600頁
ISBN 978-4-8055-1127-5
2017年2月刊
定価6,380円
(本体5,800円+税10%)

文化交流のダイナミズム

中央アジアをめぐる千余年の仏教美術史を
より広い視野で捉えなおし、多様な展開を
読み解く気鋭の論考十九篇。



アジア仏教美術論集 中央アジアII (チベット)

森雅秀 責任編集



A5判上製カバー装
本文576頁
ISBN 978-4-8055-1128-2
2018年1月刊
定価6,380円
(本体5,800円+税10%)

チベット美術研究の最前線

通時的かつ多角的観点から、チベット仏教
美術の豊饒な諸相を考究する論考十七篇を
集録。



アジア仏教美術論集 東アジアII (隋・唐)

肥田路美 責任編集



A5判上製カバー装
本文636頁
ISBN 978-4-8055-1131-2
2019年3月刊
定価6,380円
(本体5,800円+税10%)

東アジア美術の古典

後世に至るまでの偉大な模範といっべき様式
を創出した隋唐時代。強大な統一王朝の動向
と密接に絡み合い、反動と復興を経ながら展
開された中国仏教極盛期の美術を、十八篇の
論考+総論により鮮やかに浮かび上がらせる。

アジア仏教美術論集 東アジアIII (五代・北宋・遼・西夏)

板倉聖哲・塚本鷹充
責任編集



A5判上製カバー装
本文712頁
ISBN 978-4-8055-1132-9
2021年2月刊
定価6,380円
(本体5,800円+税10%)

東アジア美術の「転換期」

唐から宋へ。大変革を迎えた中国社会に
あって、仏教もまた変容のただ中にあった。
中国における仏教文化が大きな進展を遂げ
たこの時代を、遼・西夏も視野に含め、総
論的に読み解く論考十七篇+総論を集録。

アジア仏教美術論集 東アジアI (後漢・三国・南北朝)

濱田瑞希 責任編集



A5判上製カバー装
本文592頁
ISBN 978-4-8055-1130-5
2017年5月刊
定価6,380円
(本体5,800円+税10%)

中国仏教美術の開花

インドに興った仏教はどのように受容され
たのか。中国固有の伝統思想との交渉、民
族間の対立、割拠する王権や僧団とのかか
わりの中で展開された多彩な「仏のかたち」
を浮かび上がらせる十八篇の論考を集録。

アジア仏教美術論集 東アジアIV (南宋・大理・金)

板倉聖哲 責任編集



A5判上製カバー装
本文696頁
ISBN 978-4-8055-1133-6
2020年12月刊
定価6,380円
(本体5,800円+税10%)

東アジア美術を俯瞰する

わが国にある中国美術の中でも憧憬であり
続けた南宋時代、近年に入り急速に研究が
進む大理・金。本書集録十九篇の論考を通
じて、仏教文物を生み出す時代の総論的な
枠組みが新たな視点で描き出される。

アジア仏教美術論集 東アジアV (元・明・清)

宮崎法子・森雅秀
責任編集



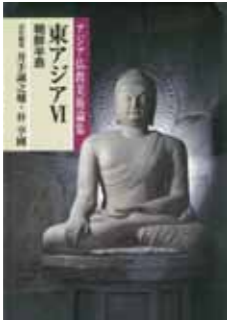
A5判上製カバー装
本文704頁
ISBN 978-4-8055-1134-3
2022年3月刊
定価6,380円
(本体5,800円+税10%)

東アジア美術の「多元性」

十三世紀にはじまる元代から二十世紀にまで
及ぶ清代に至る、時空の広がりゆえに興亡
した諸王朝下の仏教美術の諸相を、チベット
仏教の視座を交えつつ、新たに問い直す論考
十六篇+総論を集録。

アジア仏教美術論集 東アジアVI (朝鮮半島)

井手誠之輔・朴亨國
責任編集



A5判上製カバー装
本文584頁
ISBN 978-4-8055-1135-0
2018年5月刊
定価6,380円
(本体5,800円+税10%)

東アジア美術交流の結節点

日本に仏教を伝えた隣国で育まれた豊かな
仏教信仰の造形から、東アジアの緊密な文
化交流の様相を明かにする。東アジアに開
かれた観点から、日韓研究者の最新知見を
含む論考十七篇+総論二篇を集録。

アジア仏教美術論集 東アジアVII (アジアの中の日本)

宮治昭・肥田路美
・板倉聖哲 責任編集



A5判上製カバー装
本文704頁
ISBN 978-4-8055-1136-7
2023年12月刊
定価6,820円
(本体6,200円+税10%)

多様なアジア、そして日本

古代から近代まで、さまざまな展開を遂げ
てきた日本の仏教美術を、本書集録の論考
十七篇+総論を通じて、アジア諸地域に併
置して相対化する。シリーズ十二巻、ここ
に完結。